

2025年(令和7年)3月30日(日曜日)

スポーツで共同研究

県スポーツ協会と県内にキャンパスを置きスポーツ・健康系の学部などを有する19大学が連携し、共同研究などに取り組み「埼玉県スポーツ・ウェルネス系大学ネットワーク」（略称「SUN」）が発足した。同様の枠組みでの取り組みは全国的にも先進事例。「ネットワークの構築」「教育研究・事業の促進」「人材育成」の三つの柱を軸に、県内アスリートの競技力向上や指導者養成、社会的課題の解決などに向けた取り組みを進める。（丹羽良平）

$$\begin{array}{r} \blacksquare \\ 1 \\ + \\ 1 \\ \hline 8 \end{array}$$

今月14日、さいたま市浦和区の
 知事公館で行われた発足式には、
 SUNに参加する大学・短期大学
 の学長らが出席した。体育、スポ
 ーツをはじめ、健康、医療、福祉
 栄養、eスポーツ、スポーツビジ
 ネスなど、多様な分野、領域に関
 わっている大学が集った。

この場で県スポーツ協会会長の
大野元裕知事は「さまざまな形で
意見を頂くことで、形を変え、広
がりが出る。取り組みを限定的に
捉えることなく、インターディシ
プリナリー（学際的）などこれまで
で広げていくことをお願いしたい
」と期待を寄せた。

同事業は新年度から始まり、4

話題 スポーツ

「SUN」県内19大学連携

月に第一回の協議会を開催する。事務局の県スポーツ協会は今後の展開の一例として、福祉分野に知見の有する大学とスポーツ科学に強い大学がタッグを組んだ研究を想定。けがの防止策や先進的なトレーニング法が開発され、それらの知見を同協会加盟団体などのネットワークを生かし、県民の健康づくりにつながるような「1＋1＝8」の図式を描く。

■NEXT 100年

同協会には、市町村体育・スポーツ協会（63団体）、県内学校体育などの統括団体（6団体）、県内種目別競技統括団体（47団体）の計116団体が加盟。地域のスポーツ振興などを目的に、これまでに企業・団体（3社）や県内のトップチーム（4チーム）と包括連携協定を締結するなど活動の輪を広げてきた。

同協会は今年2月、創立100周年を迎えた。久保正美専務理事

は「大学、プロチーム、経済団体、企業、専門家などと埼玉のスポーツ振興のために手をつなぎ、幅広くスポーツの魅力を発信し、働きかけていきたい」と先を見据えた。新たに始動する「SUN」を次の100年に向けた挑戦の第一歩と位置付ける。

■多角的に展開

SUNは、競技者だけでなく、スポーツをサポートする人材の発掘にも力を入れる。7月27日には



発足式には「SUN」に参加する大学の学長らが出席した（県スポーツ協会提供）

県立武道館（上尾市）で開かれる「スポーツフェア」でSUN参加大学による合同進学相談会を実施予定。スポーツ分野に関する多様な選抜肢を県内外の高校生やその保護者に提示する。

同協会ではSUN参加大学を対象にしたインターンシップも行う。年間を通じて10人程度の学生を募るほか、県内トップチームを含むスポーツ団体や企業もインターンの受け入れ先として想定される。同協会の担当者は「得意、不得意にかかわらず、スポーツに携われる場所はあることを伝えたい」とさまざまな角度からスポーツ埼玉の振興・発展の機運を醸成する。

埼玉県スポーツ・ウェルネス
系大学ネットワーク（SUN）
SUNは、Sport-Saitama Un
iversities Networkの略称。発足
時の参加大学は次の19大学。浦
和大学、埼玉大学、埼玉学園大
学、埼玉県立大学、尚美学園大
学、城山大学、女子栄養大学、
東文化大学、日本医療科学大
学、日本薬科大学、平成国際大
学、武蔵丘短期大学、明海大学、
立教大学、立正大学、早稲田大
学、埼玉医科大学、東京国際大
学、目白大学